

地域商店街 活性化事業説明会

～申請書作成の支援等応募環境が改善～



6月9日、前橋市・アニバーサリーコートラシーネにおいて、群馬県商政課と群馬県商店街振興組合連合会（今川守会長、会員15組合）の共催により地域商店街活性化事業説明会を開催した。同事業は、商店街振興組合等が実施する、継続的な集客促進、需要喚起、商店街の体質強化に効果のある事業に要する経費を助成するもの。

群馬県商店街振興組合連合会今川会長、群馬県商政課金井豊幸課長、中央会木村創造常務理事の挨拶の後、具体的な説明に移った。

最初に、群馬県商店街振興組合連合会事務局が、「地域商店街活性化補助金」の採択状況に触れた後、「3月からは申請書の作成と資金繰りについて新たな支援制度が設けられたことで、応募環境が整っている。積極的に活用してほしい」と呼びかけた。続けて、募集要領に沿って申請書の具体的な記載方法や質問が多かった点について詳細な説明を行った。

次いで、関東経済産業局流通・サービス産業課和田宗介係長が、商店街関係の補助金における補助金公募申請書類等の簡素化、商店街よろず相談アドバイザー派遣事業、商店街自立促進事業等について説明を行った。

最後に、商工中金前橋支店岩間幸浩次長が、「商店街支援補助金つなぎ資金制度」について説明し、様々な商業関係の補助金の自己負担部分についても相談に応じていく方針であると述べた。



説明会の様子

◎会議を終えて

商店街よろず相談アドバイザー派遣事業、商店街支援補助金つなぎ資金制度が新たに設けられました。地域商店街活性化補助金の申請を検討されている方は是非ご活用下さい。

地区別組合理事長懇談会を開催



—業界リーダーの生の声—

6月10日（前橋市・マリーキュリーホテル）、12日（高崎市・ホワイトイン高崎）、18日（館林市・ジョイハウス）、23日（太田市・太田ナウリゾートホテル）の計4日間、県内各地の組合理事長等の業界リーダーが出席し、地区別組合理事長懇談会を開催した。



金子会長

当日は、業界の課題、組合運営、本会に対する意見要望等に関する情報交換を行った。各会場では、群馬県産業経済部の産業政策課小林雄二郎課長、商政課金井豊幸課長、企業誘致推進室鬼形尚道室長、工業振興課布施正明課長にご臨席いただくとともに、本会金子会長も出席した。

各日とも、金子会長が挨拶を行った後、中山専務理事が座長となり懇談会が行われた。まず、県産業経済部より産業経

済施策を説明。次いで本会より、今後の主要行事予定、地域中小企業の人材確保・定着支援事業等の本会事業について情報提供を行った後、意見交換が行われた。

意見交換では、業界・組合の現状、消費増税の影響、アベノミクス、外形標準課税、後継者問題、異業種間連携、社会保険の強制加入、中央会の役割、中央会や行政への要望等、話題は多岐にわたり、組合リーダー・県・本会の間で活発な議論が交わされた。

提案された忌憚のない様々な意見を受け、県産業経済部が具体的な対応策を説明し、金子会長が総括を行った。

全国中小企業団体中央会 副会長に本会金子会長を選任

全国中小企業団体中央会は6月17日、東京都内で総会を開き、本会金子会長を副会長に選任した。副会長定数が7人から10人に変更されたことに伴い役員人事が行われた。任期は来年6月まで。本県関係者が副会長に就くのは初めて。

地域中小企業の人材確保・定着支援事業

情報交換会開催



名刺交換会の様子

6月13日、前橋市・アニバーサリーコートラシーネにおいて、地域中小企業の人材確保・定着支援事業情報交換会を開催し、大学・短大・専門学校・事業者・組合・群馬労働局から関係者等が出席した。本会中山正司専務理事、群馬労働局平沢綾子地方職業指導官が挨拶を行った後、学校側と事業者側とが名刺交換を行い、情報交換会が行われた。

初めに、本会から本事業の概要を説明し、次いで、各大学の就職内定状況、就職先の動向、志望傾向等に加え、今後の取り組みや中小企業の採用環境を巡る現状等についての情報交換が行われた。

地域中小企業の人材確保・定着支援事業とは、県内大学等と連携し、若手人材を地域中小企業の戦力にするため、大学等との関係作りを行って、人材確保から新入社員への定着支援・人材育成までを一貫してサポートする事業です。

■人材確保事業

- ① 経営者による大学への出前講座
- ② 若手従業員と学生との交流会
- ③ 企業見学会
- ④ 合同企業説明会

■定着支援事業

- ① スキルアップ研修
 - ② 新入社員研修
 - ③ カウンセラーによるメンタルケア
- 合同企業説明会は左記の日程で開催します。

● 9月16日(火)

前橋市「前橋グリーンドーム」

● 10月21日(火)

太田市「マリエール太田」

● 11月12日(水)

前橋市「前橋グリーンドーム」

● 12月上旬予定

前橋市「前橋グリーンドーム」

各日とも13時～16時

お問い合わせ等につきましては、本会業務課までお願いします。

群馬県給食協同組合連合会

第43回 通常総会・講演会開催



群馬県給食協同組合連合会（木島健司会長、会員3組合）は、6月20日、伊香保町・ホテル木暮において第43回通常総会を開催した。木島会長を議長に、議案の審議がなされ、事業報告・決算、事業計画・収支予算、経費の賦課・徴収方法、借入金残高の最高限度、役員退職慰労金支給が満場一致で原案通り可決承認・決定された。また、任期満了による役員改選では、理事7名、監事2名を選出、併せて開催された理事会で、木島会長が会長に再選した。また、新たに田中桂氏（桐生中小企業福祉事業（協）が専務理事、阿部仁一氏（東毛福祉事業（協）が理事に就任した。その後、「食の魅力を活かした地域振興」をテーマに、T-1グランプリ元実行委員長戸塚久仁子氏が講演を行った。概要は以下のとおり。

「T-1グランプリ」は各地で開催されている多くの食のイベントのように一カ所に参加店を集めて競い合うスタイルではない。参加店は、新メニューを自店で提供し予選審査を受ける。その後、決勝戦に残った6店舗へ、約3か月間、お客様が来店し、一番と思う店に投票してもらうスタイルをとっている。こうすることで、店舗の雰囲気や接客などトータルで店を評価できたり、エントリーメニュー以外の商品の注文があるなどのメリットがある。回を重ねる毎に来店者数が増えるとともに、飲食店の県産豚肉への関心も高まった。今後も、遠方から前橋へ来て、食べてみたいと思われるような名物料理が生まれることを願っている。

◎研修を終えて

T-1グランプリは、お客様だけでなく、参加飲食店にとっても魅力あるイベントとなるよう、飲食店に審査結果をフィードバックするなど工夫がされている。新たな商品・サービスを提供する場合、顧客ニーズを捉えることの重要性を再認識することができた。